

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の皆さんと一緒に認知症予防!
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 のぞみの里 (長野県木曾郡木曾町福島 5569 番地)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	620,743円 (うち支援金: 403,000円)

事業内容

地域住民の認知症についての理解はまだ不十分であり、民間主導で講演会を開催し理解を深めた。

- ① 「認知症への理解を深める講演会」
期日 平成30年9月8日(土) 14:00~16:00
講師 高口 光子 氏、 参加者 77名
- ② 「認知症予防への理解を深める講演会」その1
期日 平成30年11月25日(日) 13:00~15:00
講師 朝田 隆 氏、 参加者 64名
- ③ 「認知症予防への理解を深める講演会」その2
期日 平成31年2月17日(日) 14:00~16:00
講師 玉井 颯 氏、 参加者 59名



【認知症講演会】

【目標・ねらい】

- ① 地域住民の認知症及びその予防に対する理解を深める。
- ② 各講演会への参加者100名を目標にする。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 著名な講師を招へいしたことにより、認知症の理解やその予防の必要性が身近なものになり、講演後の反響が大きかった。木曾町以外の町村からの参加者、民生委員や関係機関の職員等の参加もあった
- ② 参加者総数200名であったが、参加した聴者にとっては、普段聞くことのできない講師による生の講演を聴くことができ、認知症への理解を深め、予防に対する認識を新たにすることができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

・参加者の定員には達しなかったが、いずれの講演会も終了後に参加者の反響が大きく、認知症への理解や、予防の必要性への理解が深まった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ① 認知症の理解や予防については奥が深く、より多くの人々にもっと話を聞いてもらう機会を作っていく必要がある。
- ② 来年度は、聴者が参加できるワークショップを導入して、よりきめの細かい専門的なケアにつながる講座を4回開催することを計画している。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある